

ガーデンルームGF 施工補助部材

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

安全に関する記号と説明

- 警告** ・ 取扱いを誤った場合に使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示します。
- 注意** ・ 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示します。

情報に関する記号と説明

- お願い** ・ 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
・ 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
- 補足** ・ 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

ネジ等の締結部品の記号

ネジやナット等の締結部品を記号で示してます。(例：1a、1b、2c等)
締結部品の種類は「**梱包明細表**」を参照してください。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

□ 施工の前に

- 注意**
 - 本製品は1.0間～2.0間単体用です。連棟での施工は行わないでください。
 - 本製品は、1階設置用です。2階以上には設置しないでください。
 - 母屋の屋根から雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により、製品が破損するおそれがあります。
 - 外壁に目地や凹凸がある場合は部材取付面をシーリングやバックアップ材を用い、平らに仕上げてください。水漏れのおそれがあります。

- お願い**
 - 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
 - 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
 - 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
 - 「柱固定用カイモノ」は必要に応じて現場で手配してください。
 - 桁の重量がありますので、施工に必要な人数を確保してください。

施工上のご注意

注意

- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 水濡れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。

- シリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
ダウ・東レ(株)	SE960

- 製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。

※φ4ネジ:2.5N・m±0.5N・m(25±5kgf・cm)

※φ5ネジ:3.0N・m±0.5N・m(30±5kgf・cm)

※φ6ネジ:8.0N・m±0.5N・m(80±5kgf・cm)

※M8ボルト:12.5N・m±0.5N・m(125±5kgf・cm)

お願い

- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 本体側の屋根材取付前に施工を終えてください。

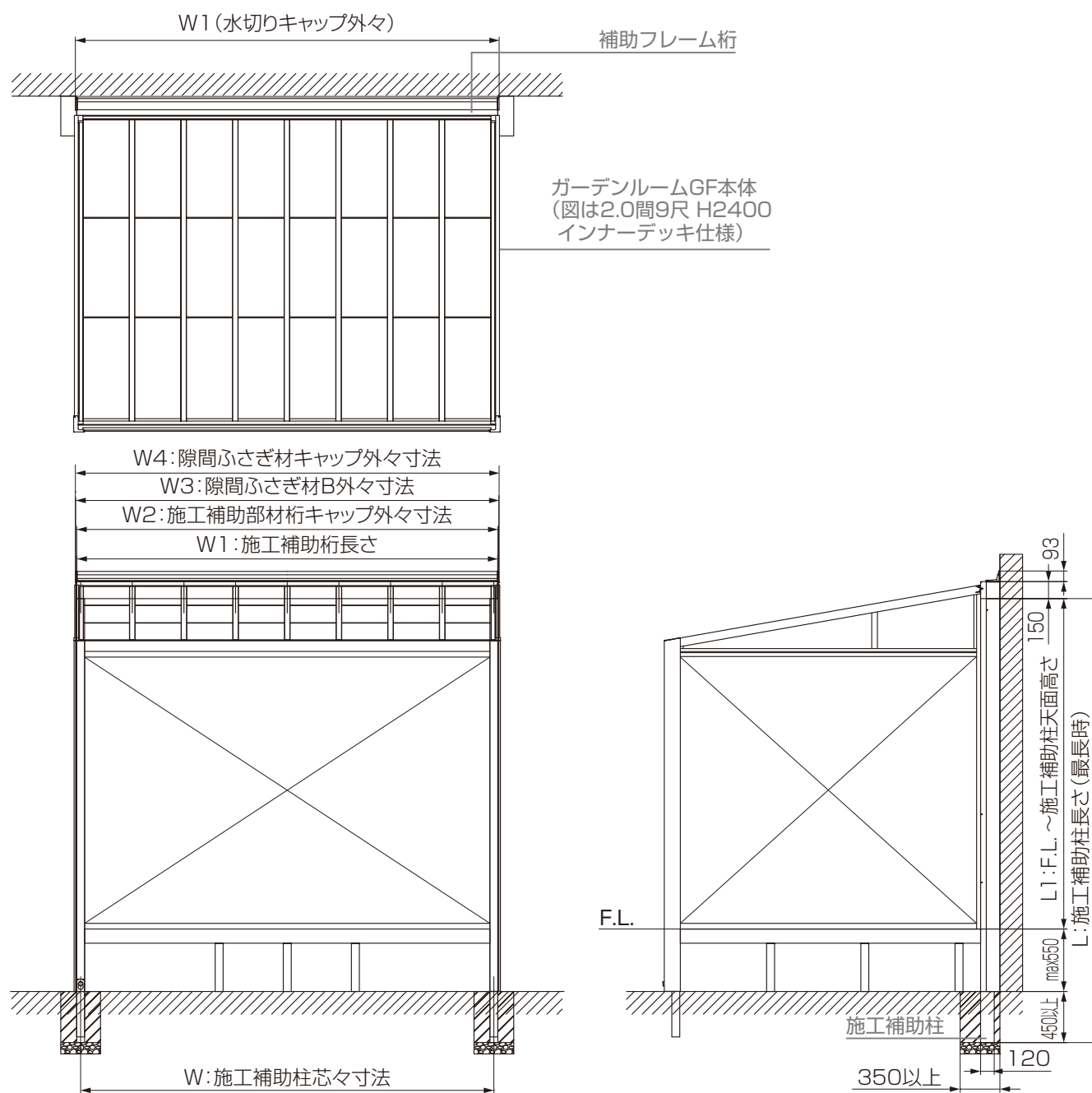
目次

1 基本寸法と各部の名称	3	3-3 施工補助柱の建込み	11
1-1 基本寸法	3	3-4 部材の取付け	12
1-1-1 デッキ仕様	3	3-4-1 桁の取付け	12
1-1-2 土間仕様	4	3-4-2 施工寸法の確認	12
1-2 各部の名称	5	3-4-3 隙間ふさぎ材の組立て	13
1-2-1 デッキ仕様	5	3-4-4 隙間ふさぎ材Aの取付け	14
1-2-2 入隅仕様	6	3-4-5 隙間ふさぎ材Cの取付け	15
2 取付け前準備	7	3-4-6 隙間ふさぎ材Bの取付け	16
2-1 部材の加工	7	3-4-7 シーリング	17
2-1-1 施工補助桁の切断	7	3-5 入隅側への水切り材の取付け	18
2-1-2 施工補助柱の切断	7	3-5-1 水切り材の加工	18
2-1-3 施工補助柱の加工	7	3-5-2 水切り材の取付け	20
2-1-4 施工補助柱の組立て	7	3-5-3 シーリング	21
2-1-5 隙間ふさぎ材Aの加工	8	4 補助柱FIX枠の施工	22
2-1-6 隙間ふさぎ材Cの加工	8	4-1 枠材ベースの取付け	22
2-1-7 隙間ふさぎ材Bの加工	9	4-2 中帯・中帯目板の取付け	23
2-1-8 隙間ふさぎ補助材の加工	9	4-3 面材の取付け	23
3 本体の施工	10		
3-1 桁の組立て	10		
3-2 隙間ふさぎ補助材の取付け	10		

1 基本寸法と各部の名称

1-1 基本寸法

1-1-1 デッキ仕様



標準納まり寸法

W呼称	W	W1	W2	W3	W4
1.0間	1820	1887.6	1890	1908	1912.6
1.5間	2730	2797.6	2800	2818	2822.6
2.0間	3640	3707.6	3710	3728	3732.6

片入隅納まり寸法

W呼称	W1	W2	W3	W4	W5
1.0間	1820	1887.6	1890	1899	1901.3
1.5間	2730	2797.6	2800	2809	2811.3
2.0間	3640	3707.6	3710	3719	3721.3

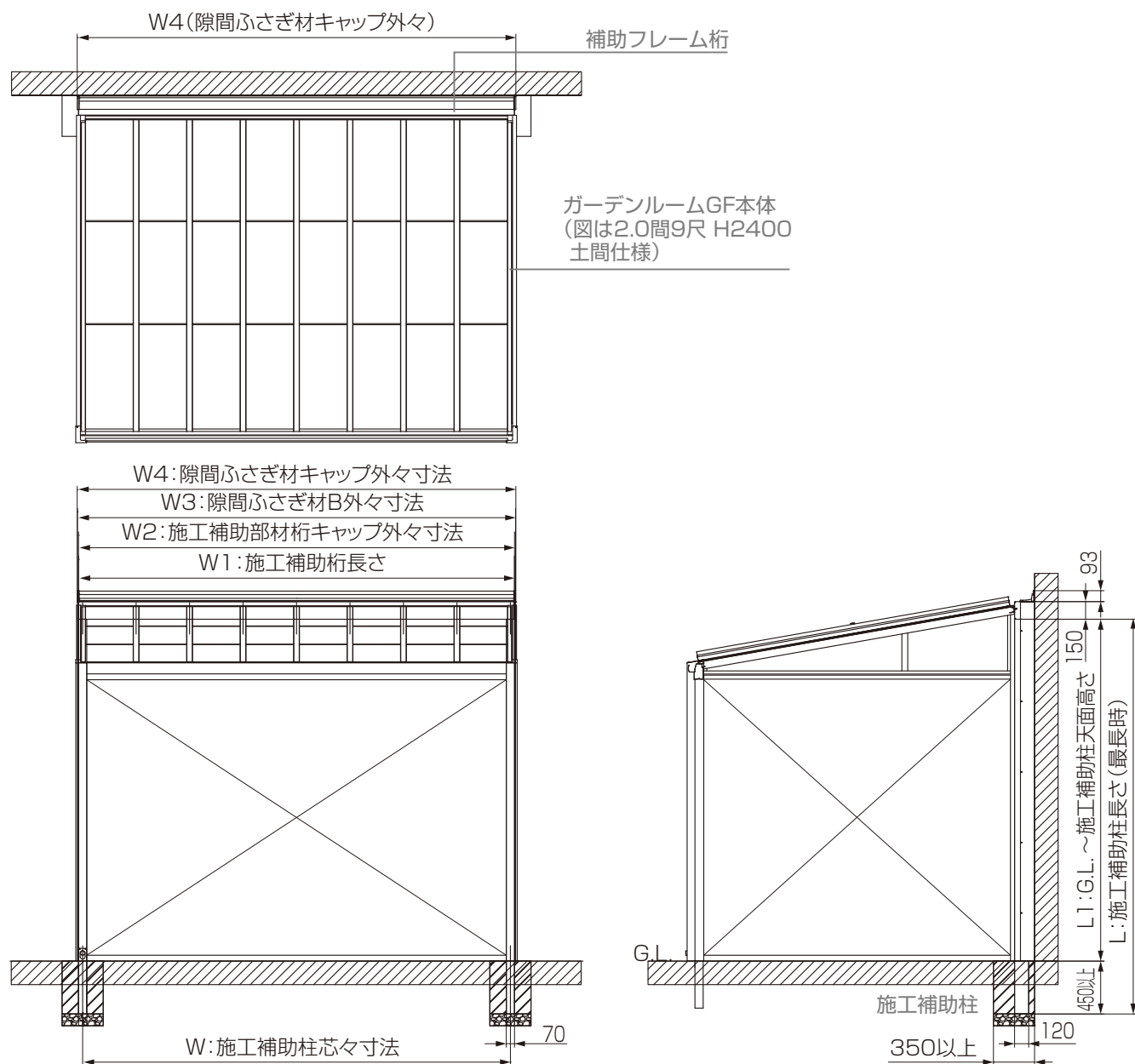
デッキ/インナーデッキ納まり寸法

高さ呼称	出幅呼称	600タイプ		1500、3000タイプ	
		L1	L	L1	L
H20	4尺	2245.5	3245.5	2265.5	3265.5
	6尺	2351.5	3351.5	2371.5	3371.5
	9尺	2510	3510	2530	3530
H22	4尺	2445.5	3445.5	2465.5	3465.5
	6尺	2551.5	3551.5	2571.5	3571.5
	9尺	2710	3710	2710	3730
H24	4尺	2645.5	3645.5	2665.5	3665.5
	6尺	2751.5	3751.5	2771.5	3771.5
	9尺	2910	3910	2930	3930

1 基本寸法と各部の名称

1-1 基本寸法

1-1-2 土間仕様



標準納まり寸法

W呼称	W	W1	W2	W3	W4
1.0間	1820	1887.6	1890	1908	1912.6
1.5間	2730	2797.6	2800	2818	2822.6
2.0間	3640	3707.6	3710	3728	3732.6

片入隅納まり寸法

W呼称	W1	W2	W3	W4	W5
1.0間	1820	1887.6	1890	1899	1901.3
1.5間	2730	2797.6	2800	2809	2811.3
2.0間	3640	3707.6	3710	3719	3721.3

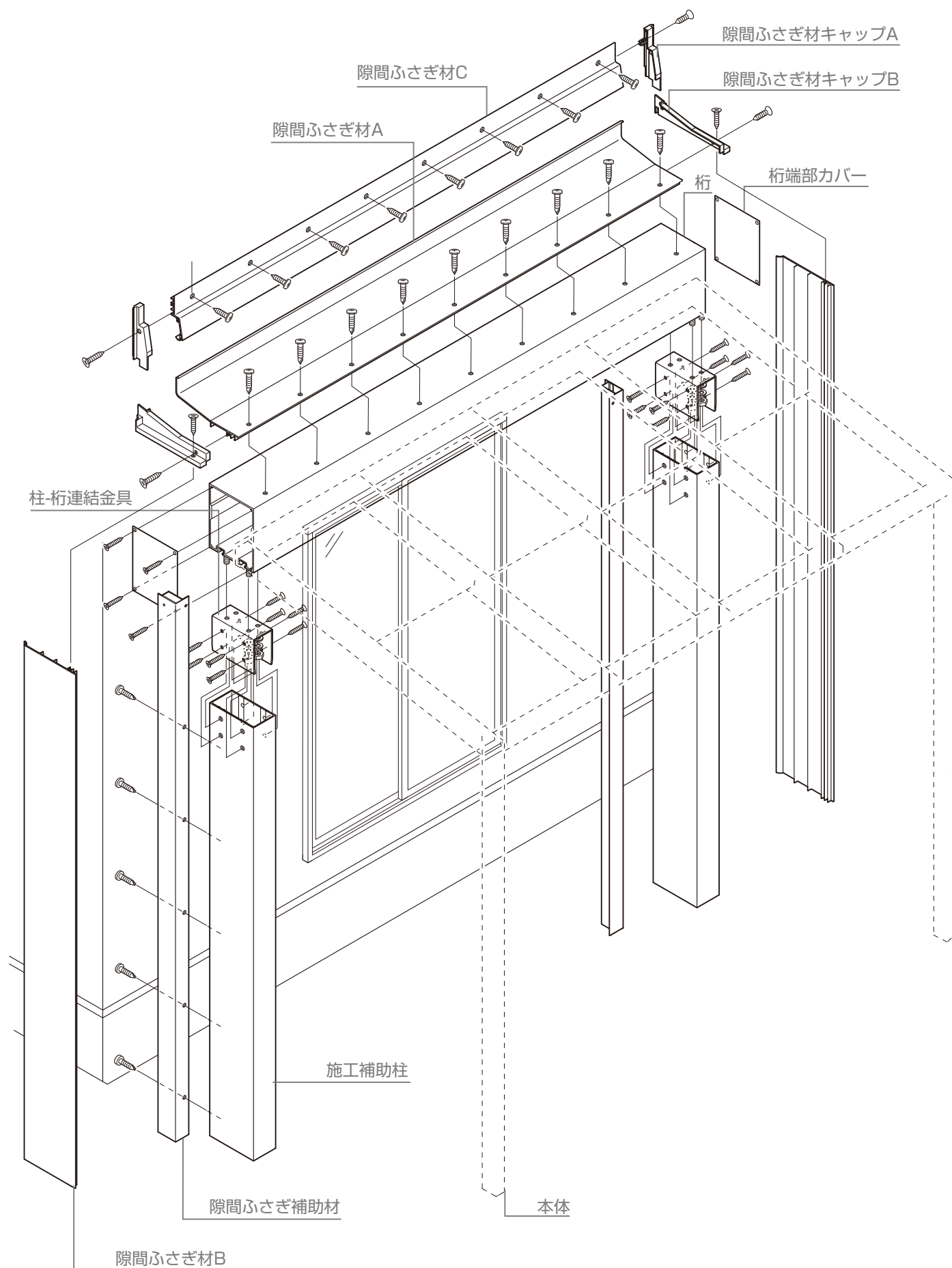
土間納まり寸法

高さ呼称	出幅呼称	600タイプ		1500、3000タイプ	
		L1	L	L1	L
H20	4尺	2245.5	2695.5	2265.5	2715.5
	6尺	2351.5	2801.5	2371.5	2821.5
	9尺	2510	2960	2530	2980
H22	4尺	2445.5	2895.5	2465.5	2915.5
	6尺	2551.5	3001.5	2571.5	3021.5
	9尺	2710	3160	2730	3180
H24	4尺	2645.5	3095.5	2665.5	3115.5
	6尺	2751.5	3201.5	2771.5	3221.5
	9尺	2910	3360	2930	3380

1 基本寸法と各部の名称

1-2 各部の名称

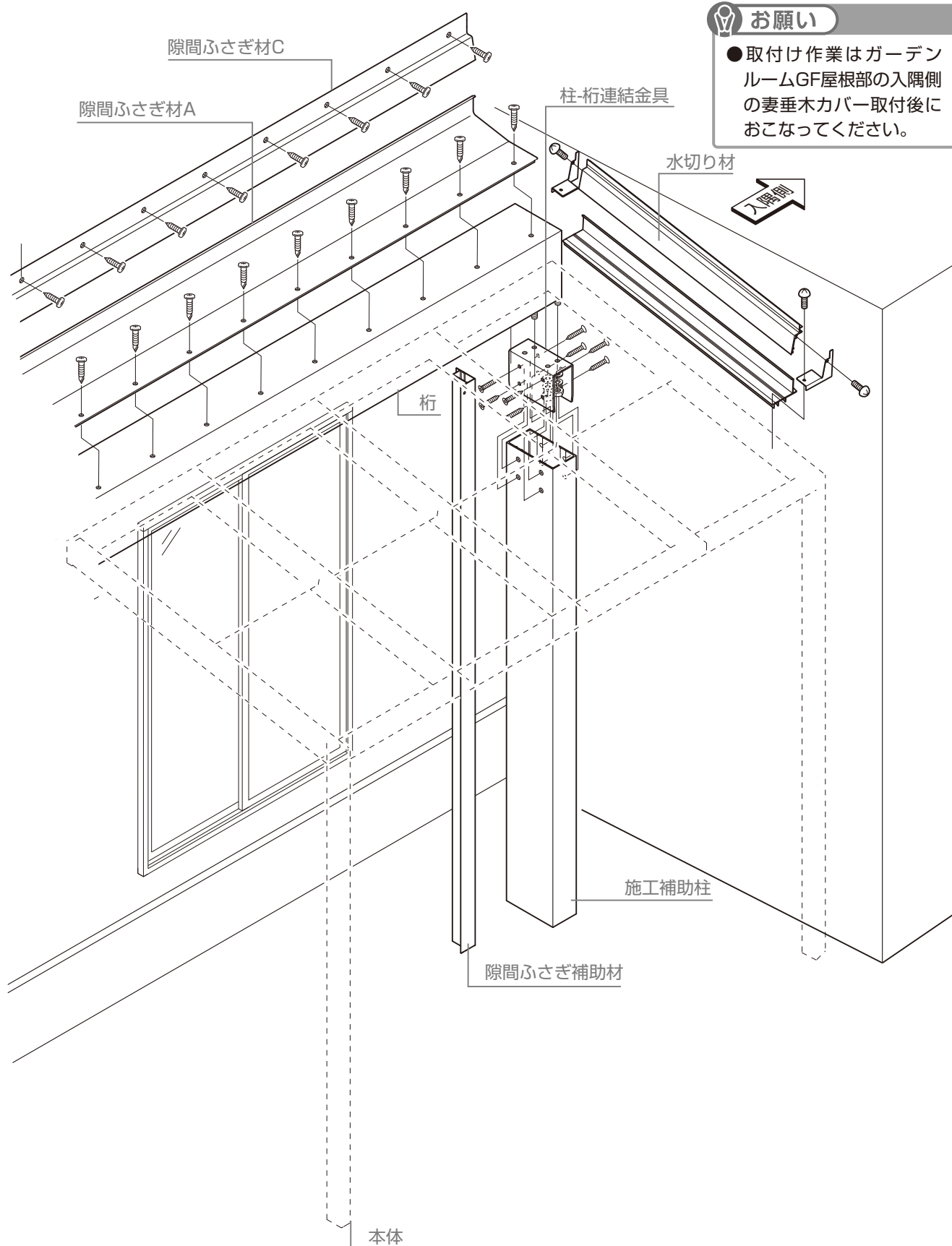
1-2-1 デッキ仕様



1 基本寸法と各部の名称

1-2 各部の名称

1-2-2 入隅仕様



2 取付け前準備

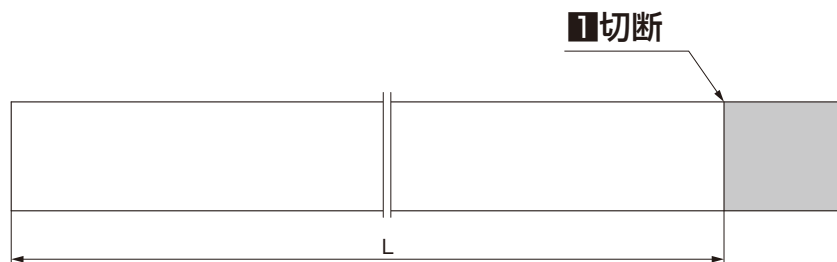
2-1 部材の加工

2-1-1 施工補助桁の切断

※加工寸法「L」は基本寸法を参照してください。

1: 施工補助桁をL寸法に切断

W呼称	L
1.0間	1888
1.5間	2798
2.0間	3708

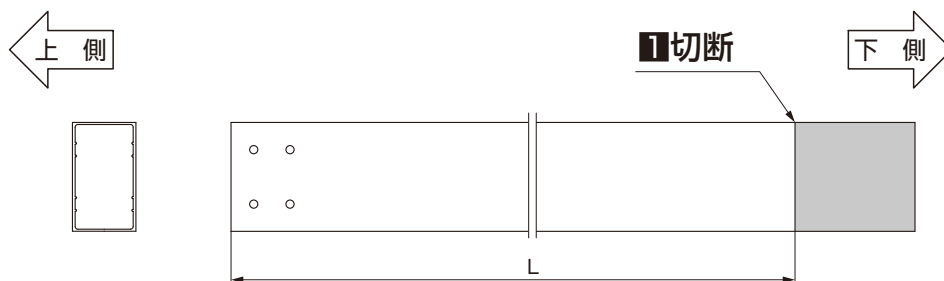


2-1-2 施工補助柱の切断

1: 施工補助柱をL寸法に切断

お願い

- 床下寸法および埋込み寸法を考慮して切断してください。

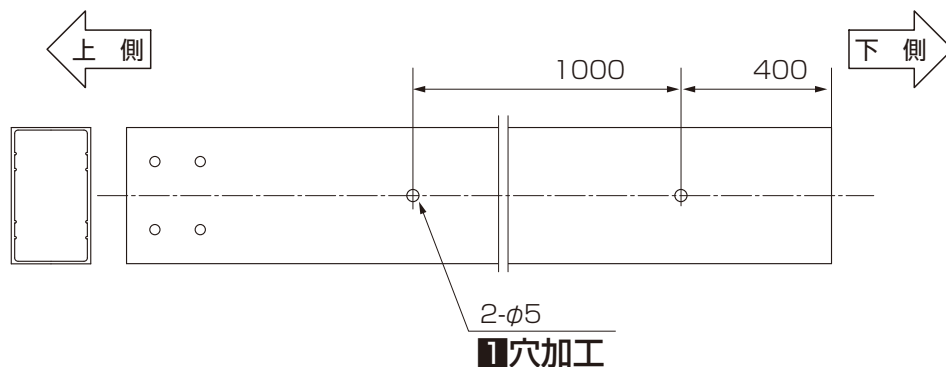


2-1-3 施工補助柱の加工

1: 施工補助柱に2-φ5の穴加工

お願い

- 穴加工はルーム側に行なってください。

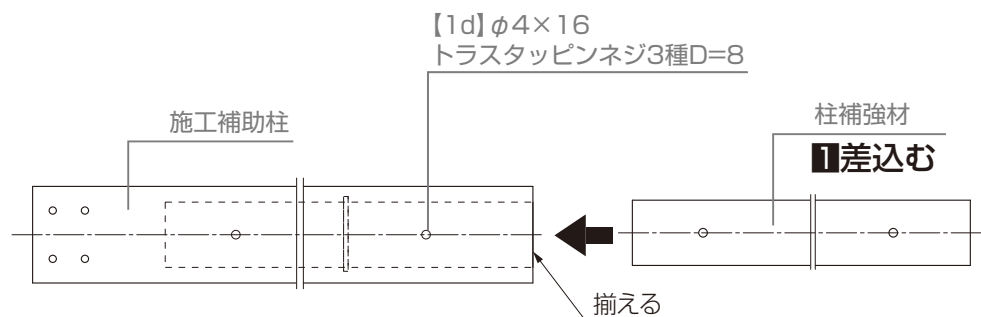


2-1-4 施工補助柱の組立て

1: 柱補強材を施工補助柱に差込み
【1d】で固定

お願い

- 施工補助柱と柱補強材は下側をそろえてください。



2 取付け前準備

2-1 部材の加工

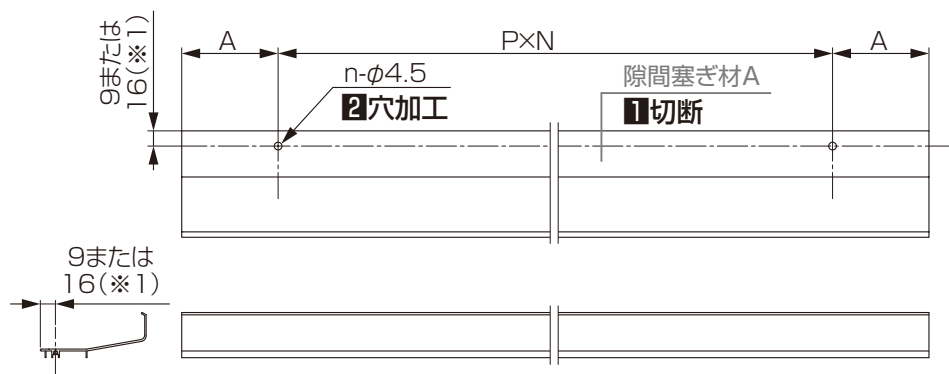
2-1-5 隙間ふさぎ材Aの加工

❶: 隙間ふさぎ材AをL寸で切断

❷: 隙間ふさぎ材Aにφ4.5の穴加工

補 足

●柱が躯体に接する場合は、φ4.5の穴加工位置は16mmになります。
(※1)



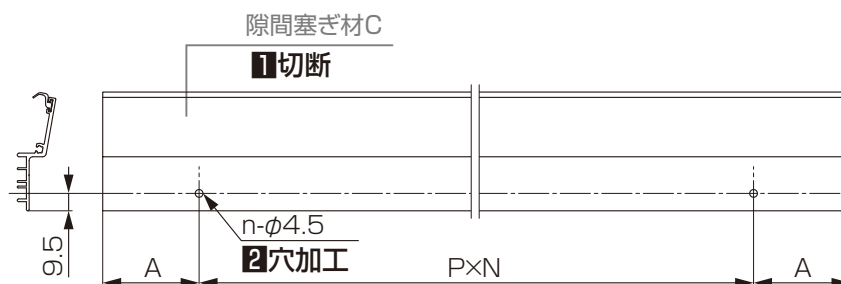
	A	P	n
1.0間	100	400	6
1.5間	100	400	8
2.0間	100	400	10

間口呼称	納まり	L寸
1.0間	標準	1887.5
	片入隅	1889
1.5間	標準	2797.5
	片入隅	2799
2.0間	標準	3707.5
	片入隅	3709

2-1-6 隙間ふさぎ材Cの加工

❶: 隙間ふさぎ材CをL寸で切断

❷: 隙間ふさぎ材Cにφ4.5の穴加工



	A	P	n
1.0間	100	400	6
1.5間	100	400	8
2.0間	100	400	10

間口呼称	納まり	L寸
1.0間	標準	1887.5
	片入隅	1889
1.5間	標準	2797.5
	片入隅	2799
2.0間	標準	3707.5
	片入隅	3709

2 取付け前準備

2-1 部材の加工

2-1-7 隙間ふさぎ材Bの加工

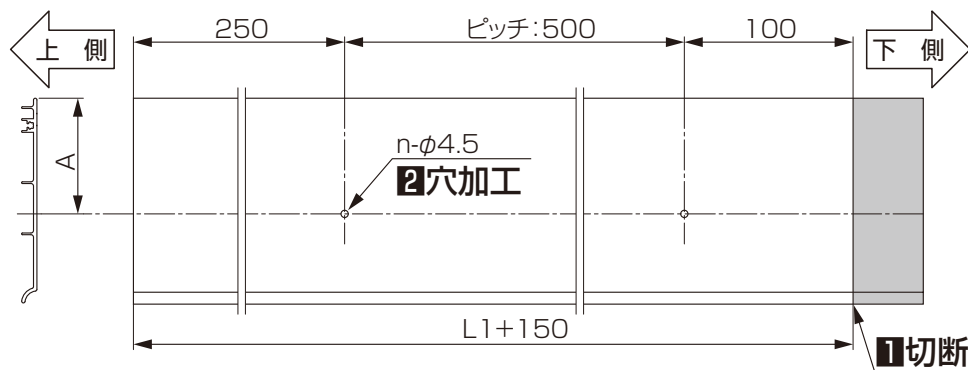
※入隅側には不要です。
※本図は外観左用を示します。※加工寸法「L」は基本寸法を参照してください。

1: 隙間ふさぎ材BをL+150に切断

2: 隙間ふさぎ材Bにφ4.5穴加工

お願い

- 基本寸法は最長時のものです。床下寸法が異なる場合は切断寸法を調整してください。



φ4.5穴(※1)加工位置

柱と躯体との隙間	0～17	17～37	37～50	50～73	73～80
A	9(V溝)	75	55	75	55

2-1-8 隙間ふさぎ補助材の加工

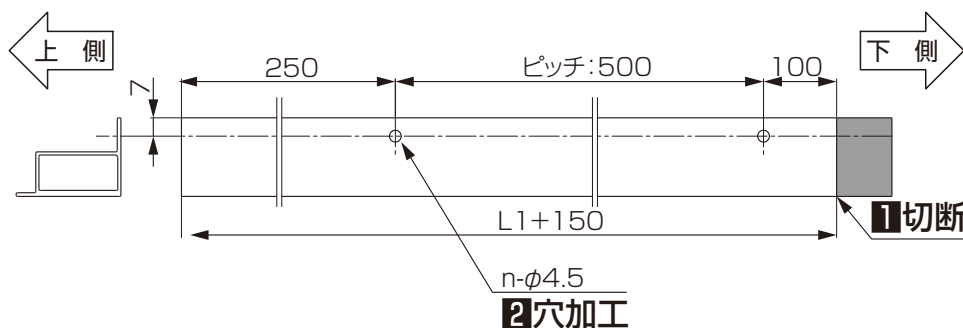
※入隅側には不要です。
※躯体と柱との隙間が50mm以上の場合に必要です。

1: 隙間ふさぎ補助材をL+150に切断

お願い

- 基本寸法は最長時のものです。床下寸法が異なる場合は切断寸法を調整してください。

2: 隙間ふさぎ補助材にφ3.5の穴加工



3 本体の施工

3-1 桁の組立て

1: 【1e】を桁の溝に挿入

2: 柱-桁固定金具を桁に【1f】、【1g】、【1h】で取付け

3: 桁端部カバーを桁に【6b】で取付け

【1e】φ10×25
六角ボルト

1 挿入

柱-桁固定金具

2 取付け

お願い

●柱-桁固定金具は桁端部カバー端部から4mm内側になるように固定してください。

桁端部カバー

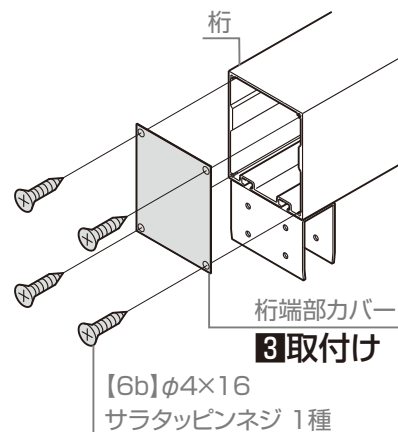
4

桁
柱-桁固定金具

【1h】M10平座金

【1g】M10バネ座金

【1f】M10六角ナット



3 取付け

【6b】φ4×16
サラタッピンネジ 1種

3-2 隙間ふさぎ補助材の取付け

※入隅側への取付けは不要です。
※躯体と柱との隙間が50mm以上の場合に必要です。

1: 隙間ふさぎ補助材を施工補助柱に
【1b】で取付け

お願い

●隙間ふさぎ補助材と施工補助柱の外面がそろっていることを確認してください。

【1c】φ4×19
ナベドリルネジ

隙間ふさぎ補助材

施工補助柱

桁

そろえる

隙間ふさぎ補助材

1 取付け

【1b】φ4×19
ナベドリルネジ

施工補助柱

3-3 施工補助柱の建込み

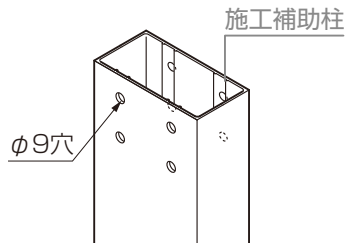
1: 補助柱を建込み (「1. 基本寸法と各部名称」1-1 基本寸法を参照)

お願い

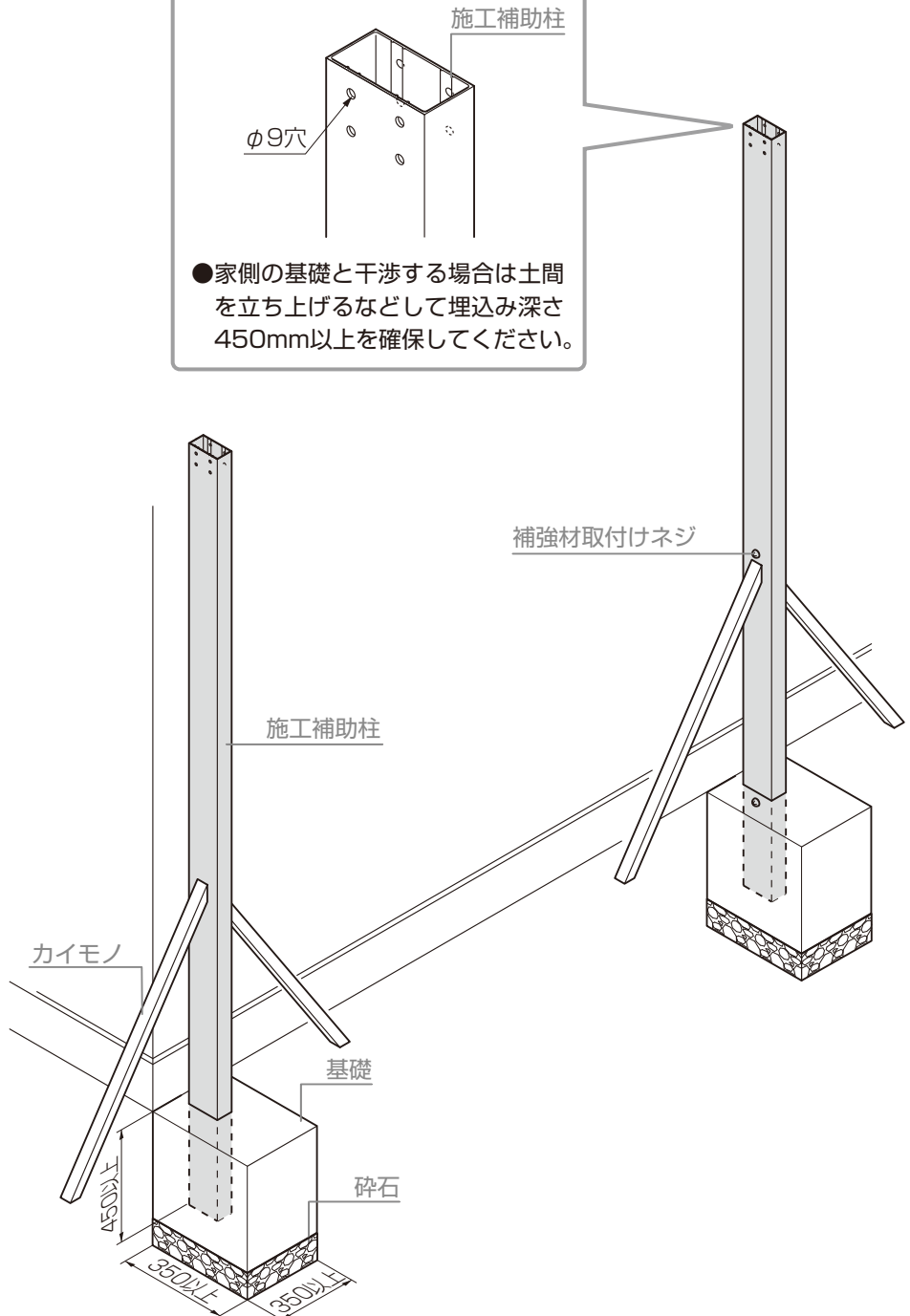
- 端部柱が倒れないように、カイモノ等で仮固定してください。
- カイモノ等は、現場調達してください。

お願い

- 柱上部の加工穴が向かい合うように建込んでください。
- 補強材取付けネジが向かい合うように設置してください。



- 家側の基礎と干渉する場合は土間を立ち上げるなどして埋込み深さ450mm以上を確保してください。

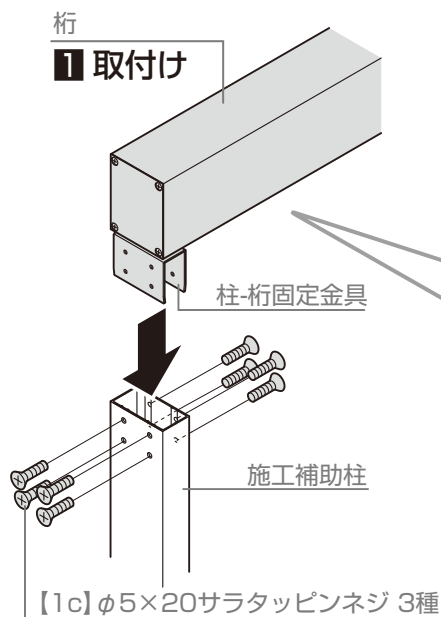


3 本体の施工

3-4 部材の取付け

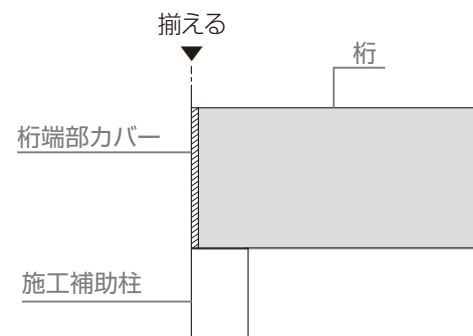
3-4-1 桁の取付け

1: 桁を柱に【1c】で取付け



お願い

- 桁端部カバーと柱の外面がそろっていることを確認してください。

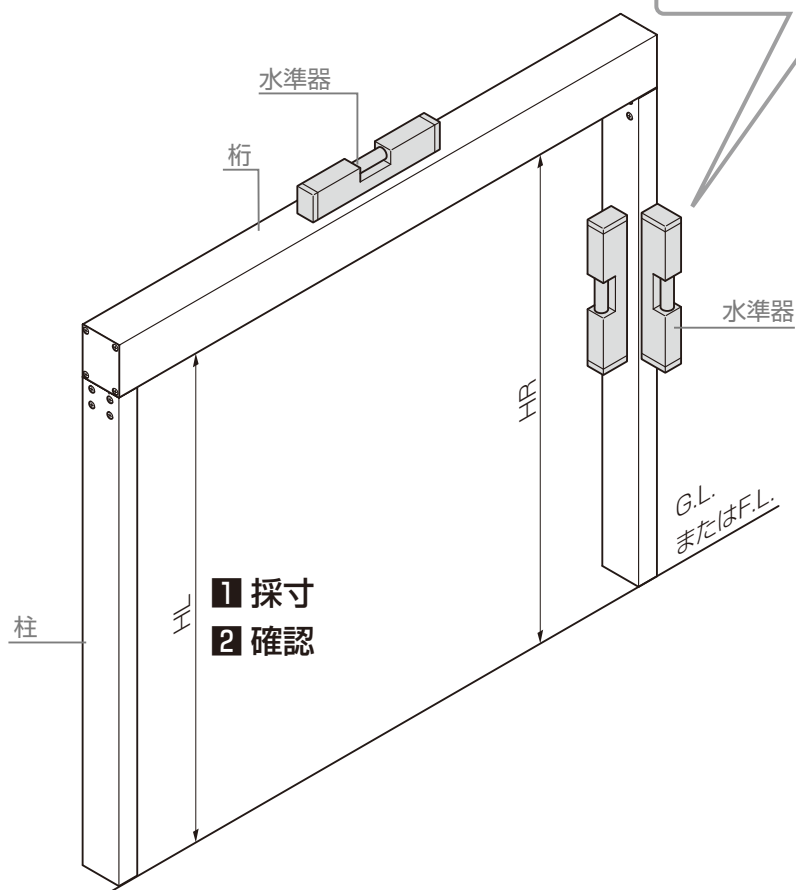
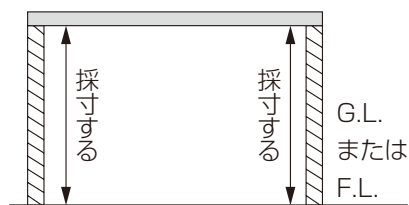


3-4-2 施工寸法の確認

- 1: G.L.(またはF.L.)～桁下面までの高さHR、HLを採寸
- 2: 採寸したHR、HLが「1. 基本寸法と各部の名称」のLー(埋込み深さ)と等しいことを確認

お願い

- G.L.(またはF.L.)～桁下面までの高さHR、HLは採寸位置によって高さが異なる場合があります。必ず、補助柱に近い位置で各々採寸してください。



お願い

- 補助柱の水平、垂直を確認してください。

3 本体の施工

3-4 部材の取付け

3-4-3 隙間ふさぎ材の組立て

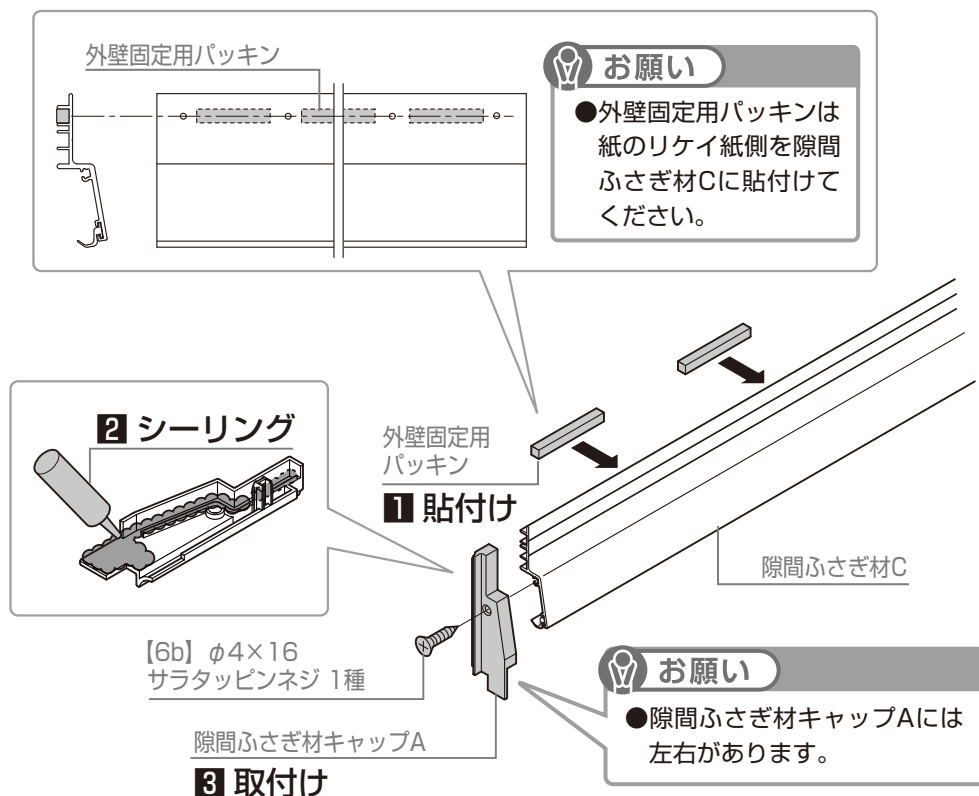


補 足

- 入隅側への取付けは不要です。

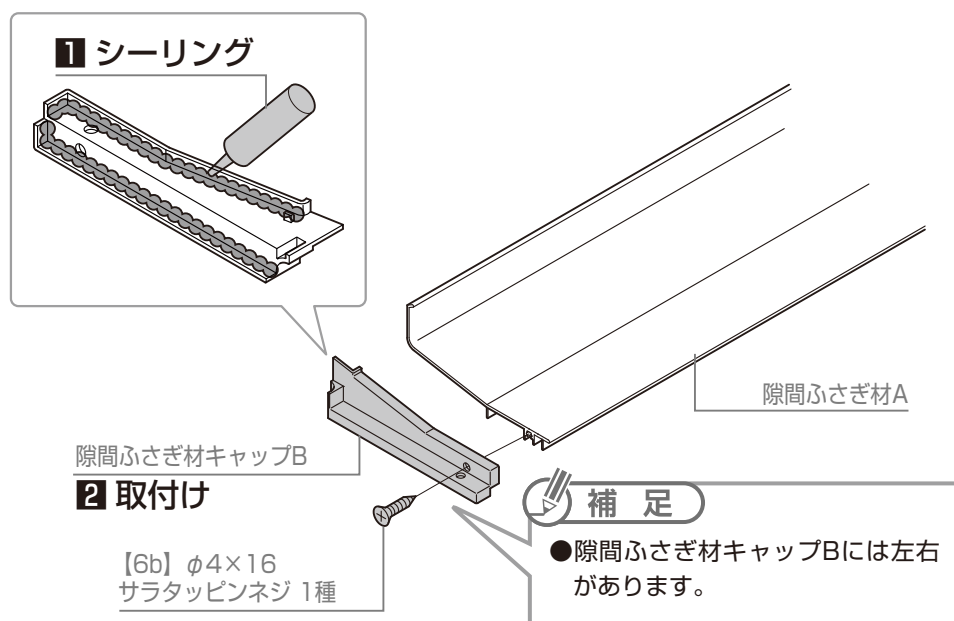
(1) 隙間ふさぎキャップAの取付け

- 1: 外壁固定用パッキンを隙間ふさぎ材Cに貼付け
- 2: 隙間ふさぎ材キャップAにシーリング
- 3: 隙間ふさぎ材キャップAを隙間ふさぎ材Cに【6b】で取付け



(2) 隙間ふさぎキャップBの取付け

- 1: 隙間ふさぎ材キャップBにシーリング
- 2: 隙間ふさぎ材キャップBを隙間ふさぎ材Aに【6b】で取付け

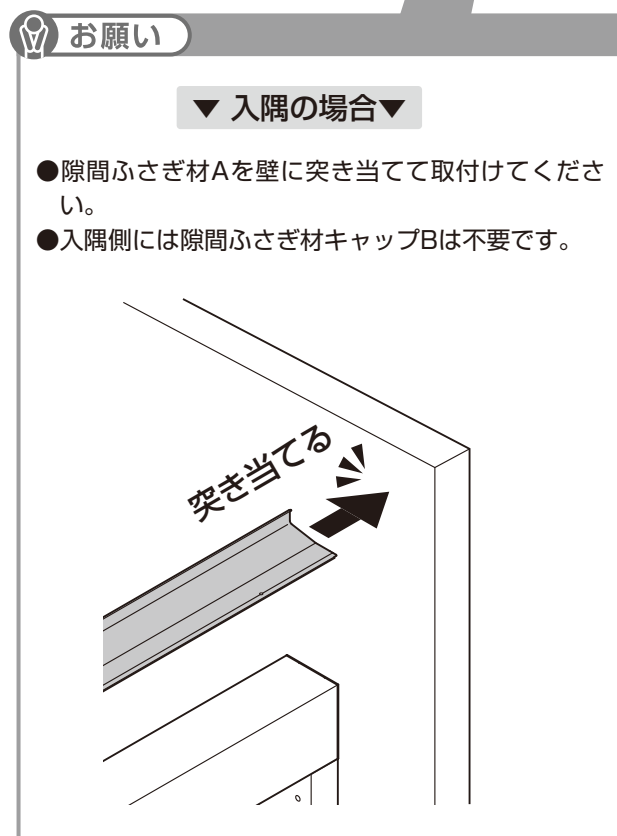
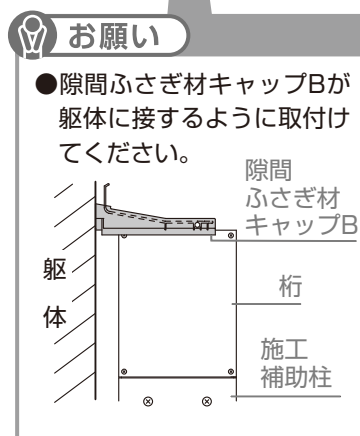
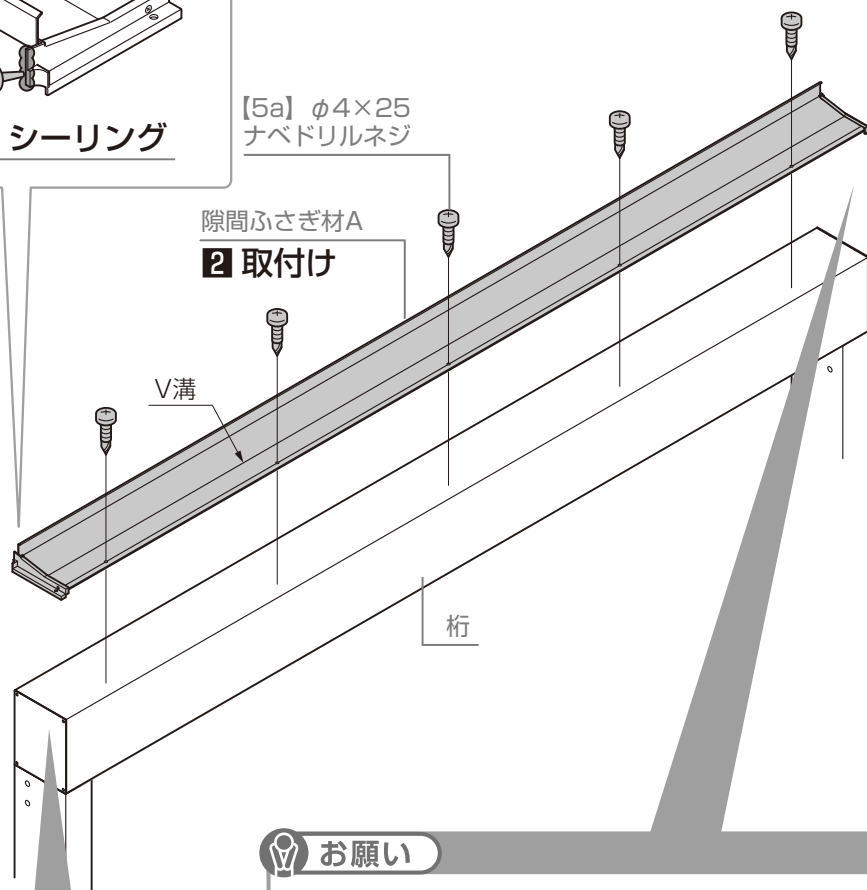
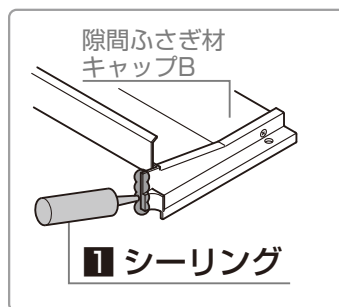


3-4 部材の取付け

3-4-4 隙間ふさぎ材Aの取付け

❶: 隙間ふさぎ材キャップBの躯体に接する面にシーリングを塗布

❷: 隙間ふさぎ材Aを桁に【5a】で取付け

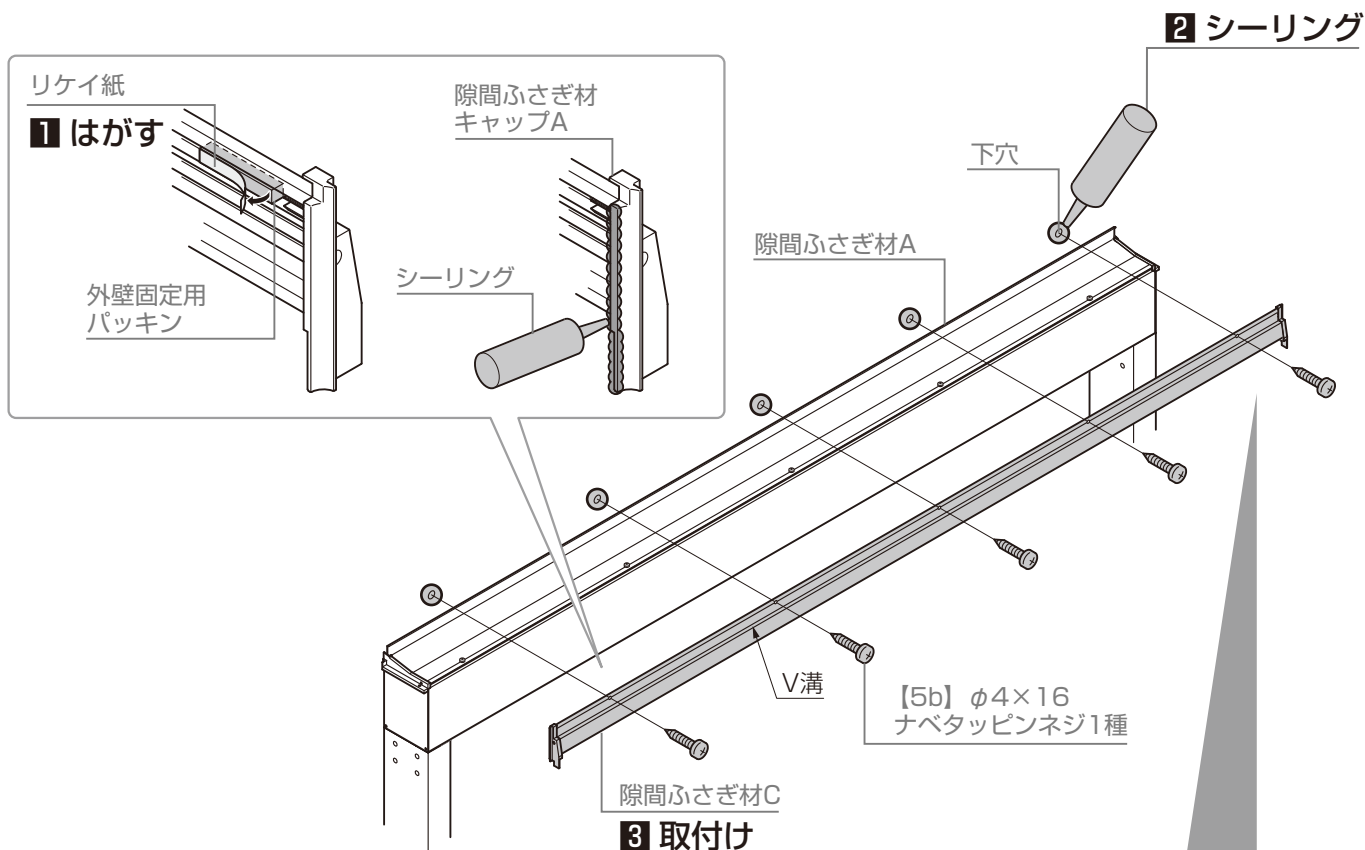


3 本体の施工

3-4 部材の取付け

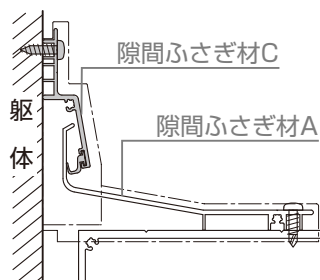
3-4-5 隙間ふさぎ材Cの取付け

- 1: 隙間ふさぎ材Cに張付けている外壁固定用パッキンのリケイ紙をはがす
- 2: 隙間ふさぎ材キャップAの躯体に接する面にシーリングを塗布
- 3: 隙間ふさぎ材Cの納まりを確認して躯体に【5b】で取付け



お願い

- 隙間ふさぎ材Cは隙間ふさぎ材Aにのせるようにしてください。



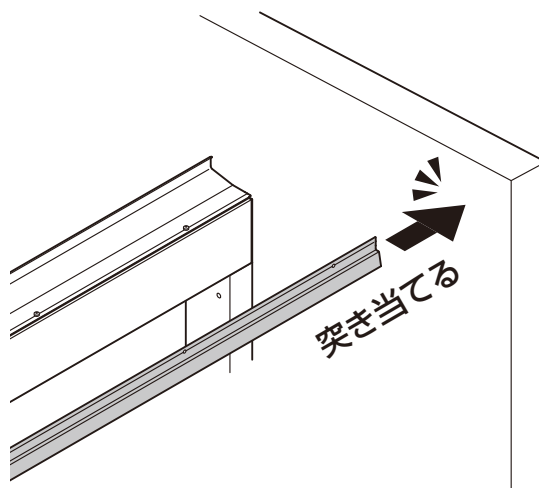
補足

- 隙間ふさぎ材Cを躯体の縦胴縁などに固定する際は、【5c】φ4×60ナベタッピンネジを使用してください。

お願い

▼ 入隅の場合 ▼

- 隙間ふさぎ材Cを壁に突き当てて取付けてください。
- 入隅側には隙間ふさぎ材キャップAは不要です。



3 本体の施工

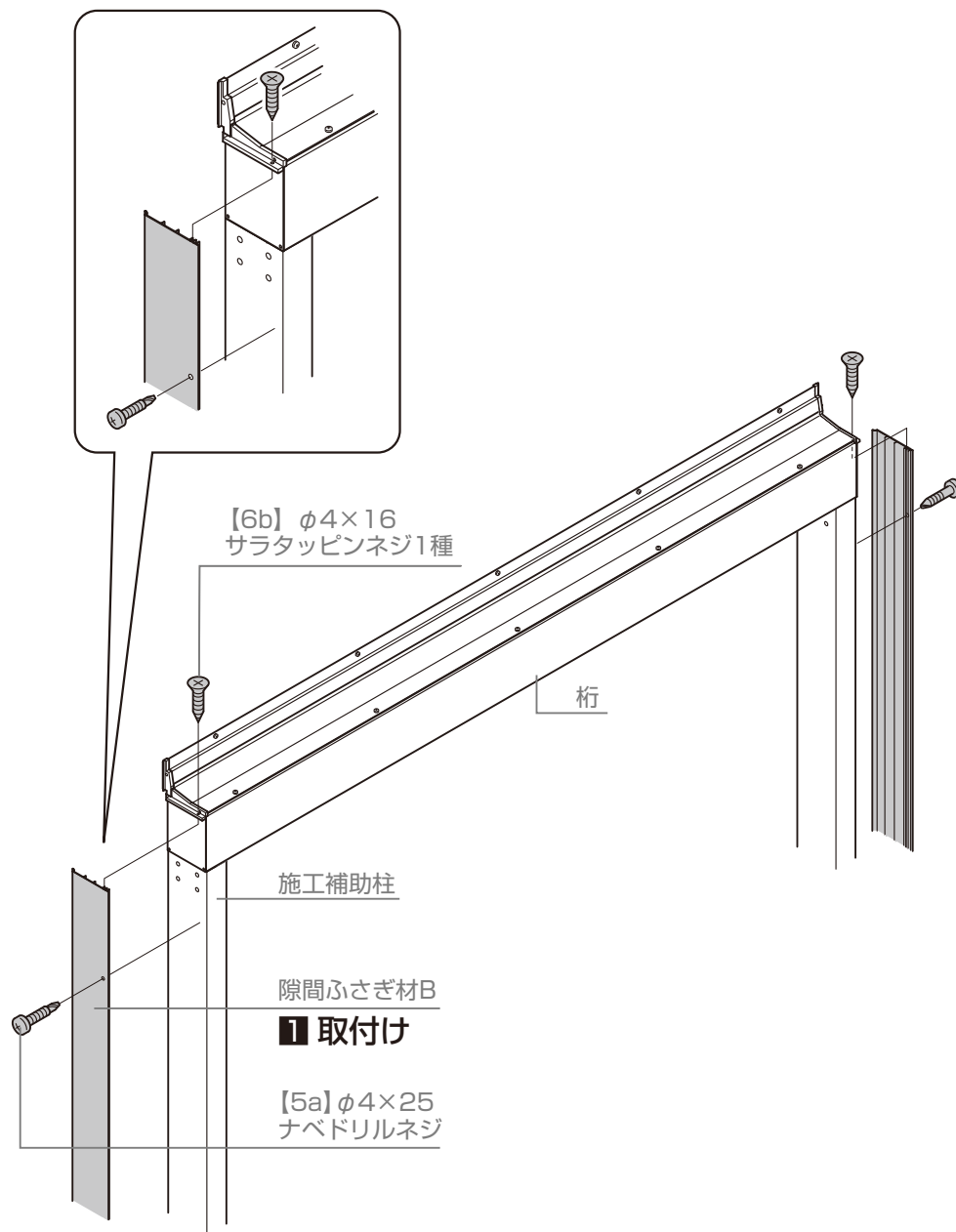
3-4 部材の取付け

3-4-6 隙間ふさぎ材Bの取付け

- 1: 隙間ふさぎ材Bを施工補助柱に【5a】、
【6b】で取付け

補 足

- 隙間ふさぎ材Bは、隙間ふさぎ材キャップBの下に差込むように組付けてください。



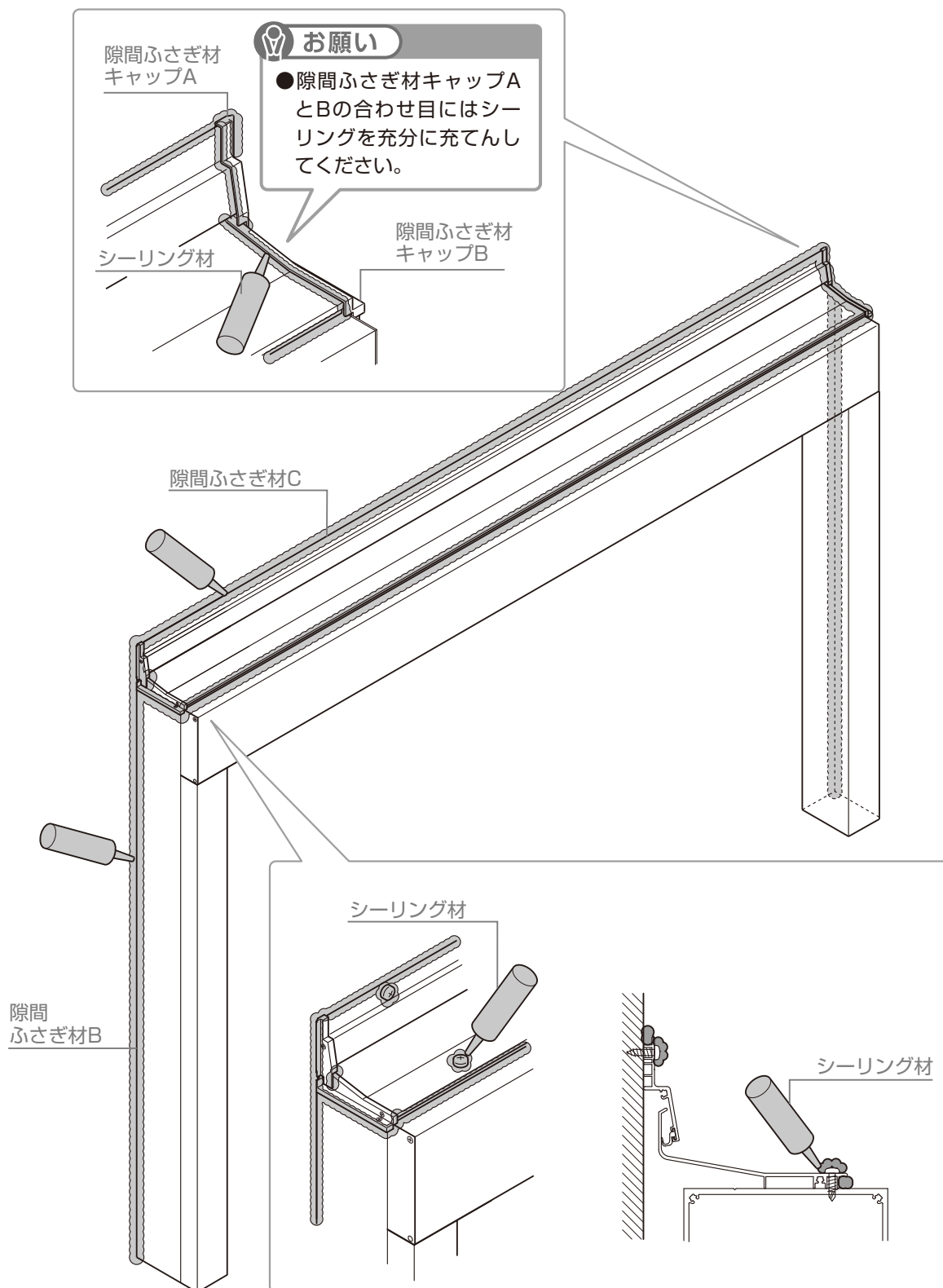
3 本体の施工

3-4 部材の取付け

3-4-7 シーリング

💡 お願い

- 雨水の侵入防止のため、図の位置にシーリングを行なってください。



3 本体の施工

3-5 入隅側への水切り材の取付け

3-5-1 水切り材の加工

！ 注意

●この作業は屋根部の妻垂木カバー取付後におこなってください。

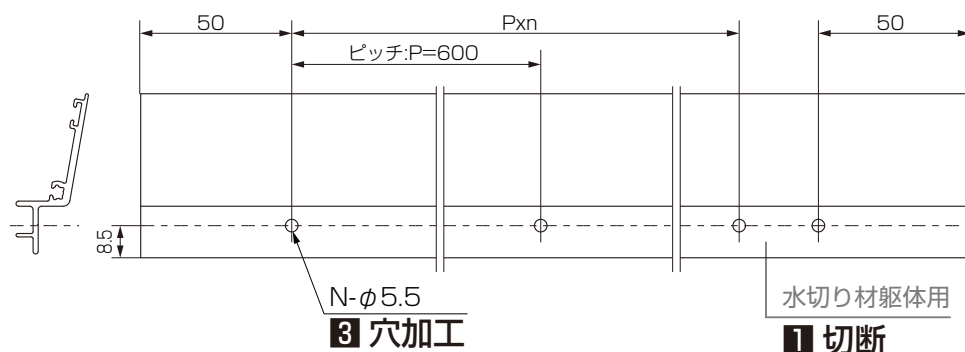
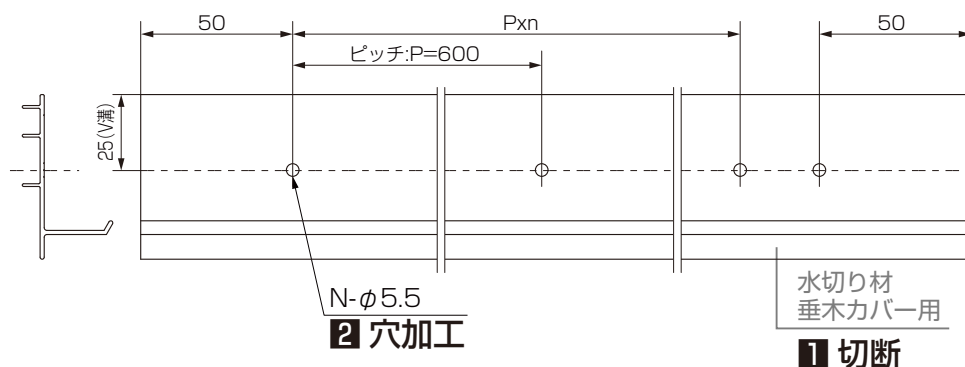
❶:水切り材垂木カバー用、水切り材躯体用をL寸に切断

❷:水切り材垂木カバー用の寸法位置にN-φ5.5の下穴加工

❸:水切り材躯体側用の寸法位置にN-φ5.5の下穴加工

呼称	部材	L寸
4尺	L1300	2690
6尺	L1900	1776
9尺	L2700	1166

呼称	N
L1300	3
L1900	4
L2700	6



3-5 入隅側への水切り材の取付け

3-5-1 水切り材の加工

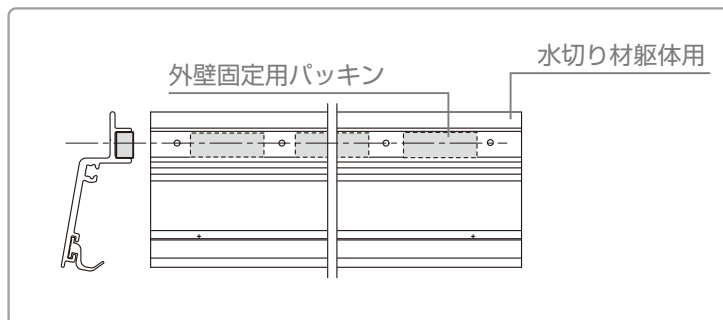
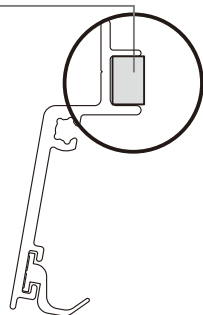
つづき

6: 水切り材躯体用に外壁固定用パッキンを貼付け

お願い

- 外壁固定用パッキンは、紙のリレイ紙側を水切り材躯体用の図の位置に貼り付けてください。

外壁固定用
パッキン



水切り材躯体用

外壁固定用パッキン

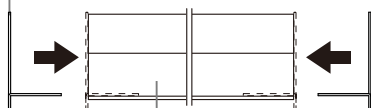
6貼付け

7: 水切り材躯体用の両端部に水切り材端部カバーを【3e】で取付け

お願い

- 水切り材端部カバーの金具が向き合うように両端部に取付けてください。

水切り材端部カバー



水切り材躯体用

【3e】φ4×8トラス
タッピンネジ3種

水切り材躯体用

水切り材端部カバー

7取付け

3 本体の施工

3-5 入隅側への水切り材の取付け

3-5-2 水切り材の取付け

- ❶: 水切り材垂木カバー用を、ガーデンルーム妻垂木カバーの柱側端部に揃えて乗せる

補 足

- 水切り材垂木カバー用は、入隅側の躯体に突き当ててください。

- ❷: 妻垂木カバーにφ4.5の穴加工

補 足

- 妻垂木カバーの下穴位置は、水切り材垂木カバー用の下穴をガイドにしてあげてください。

お願い

- 穴加工は垂木カバーまでです。垂木まで貫通しないでください。

- ❸: 妻垂木カバーに水切り材垂木カバー用を【3c】で取付け

- ❹: 水切り材端部カバーを水切り材垂木カバー用に置き、φ3.5下穴加工

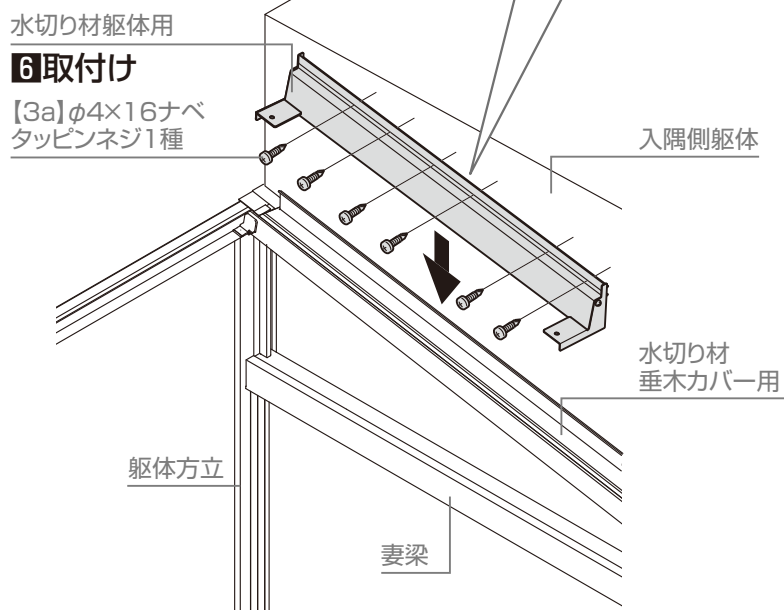
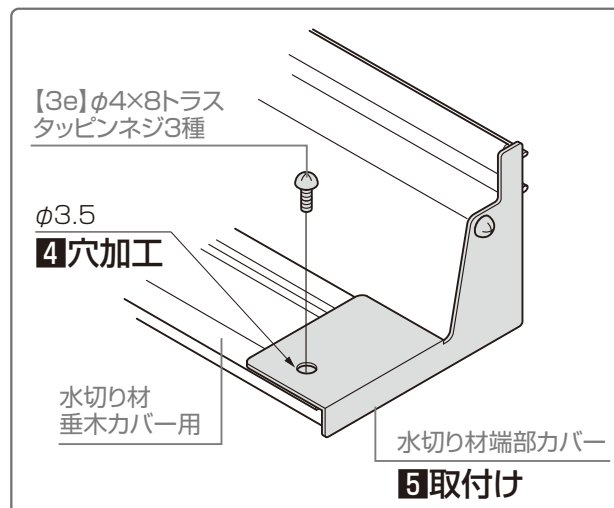
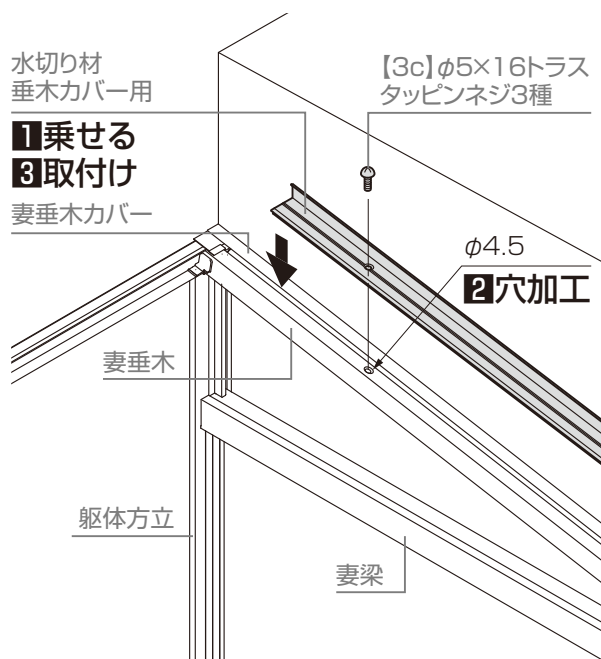
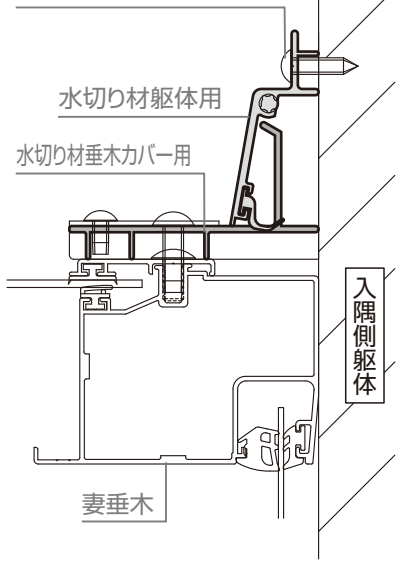
- ❺: 水切り材端部カバーを水切り材垂木カバー用に【3e】で取付け

- ❻: 水切り材躯体用を水切り材垂木カバーに乗せ、入隅側躯体に【3a】で取

お願い

- 水切り材躯体用と水切り材垂木カバー用は図のように取付けてください。

【3a】φ4×16ナベ
タッピンネジ1種



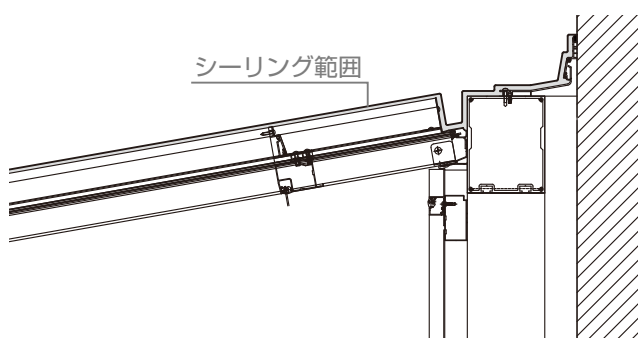
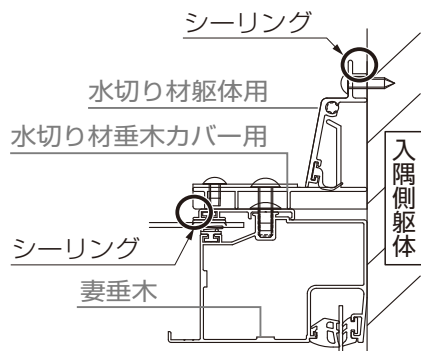
3-5 入隅側への水切り材の取付け

3-5-3 シーリング

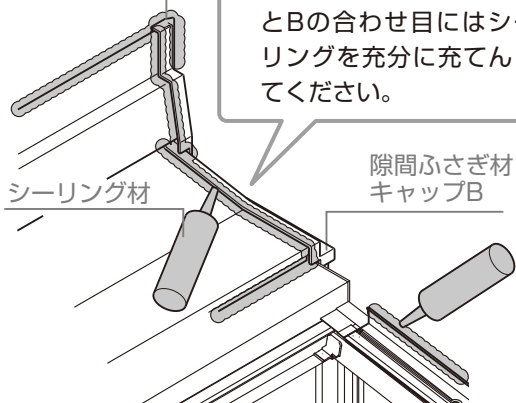
お願い

●雨水浸入防止のため、以下の場所にシーリングをしてください。

- ・本体屋根部の所定の場所
- ・施工補助部材の所定の場所
- ・水切り材の周囲



隙間ふさぎ材
キャップA



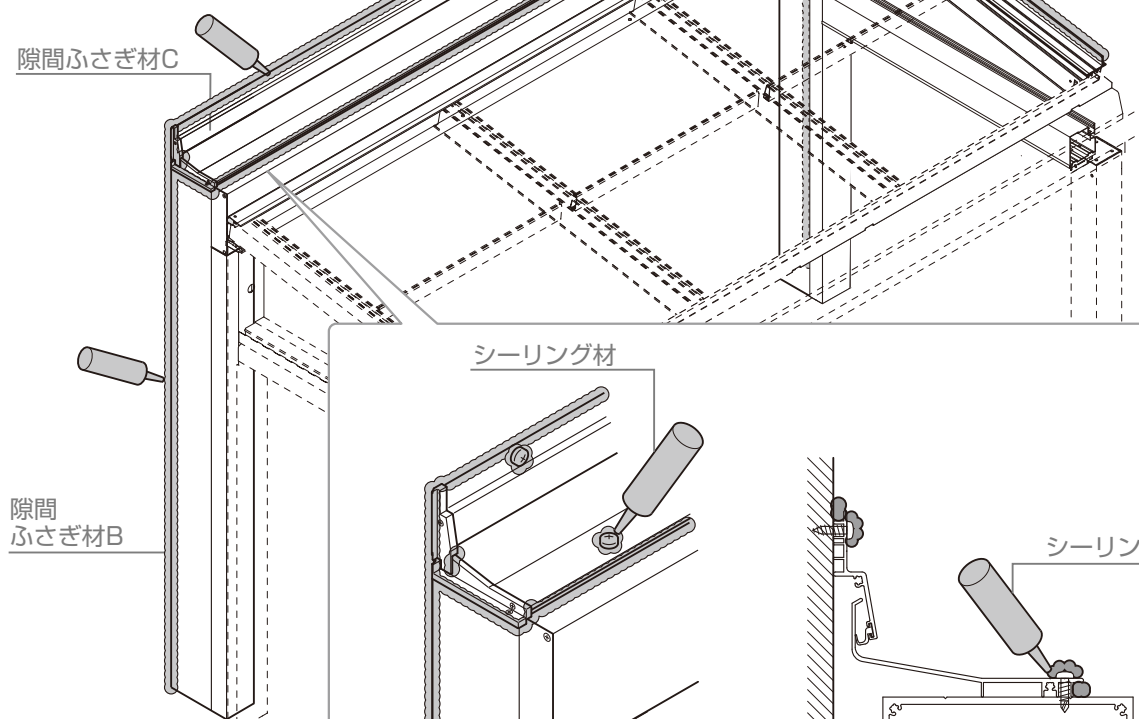
お願い

●隙間ふさぎ材キャップAとBの合わせ目にはシーリングを十分に充てんしてください。

お願い

●入隅側躯体と接する部分すべてにシーリングを塗布してください。

隙間ふさぎ材C



4 補助柱FIX枠の施工

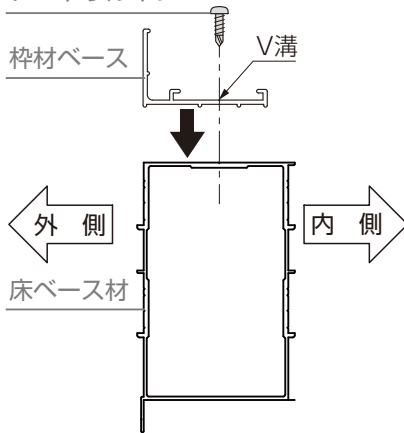
4-1 枠材ベースの取付け

- ❶: 躯体飛び出し部の寸法(D)を採寸
- ❷: 寸法値に合わせて上下の枠材ベースを切詰め
- ❸: 枠材ベースを補助フレーム柱または躯体に【4b】で取付け

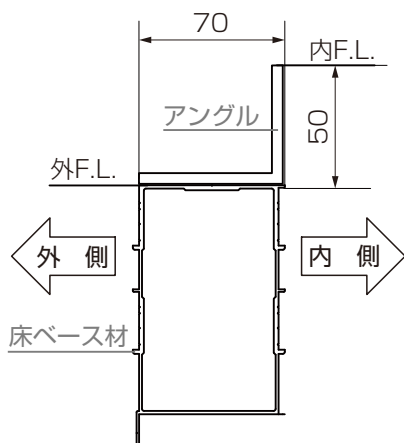
お願い

- 枠材ベースと床ベース材は外側でそろえてください。

【4b】φ4×13
ナベドリルネジ

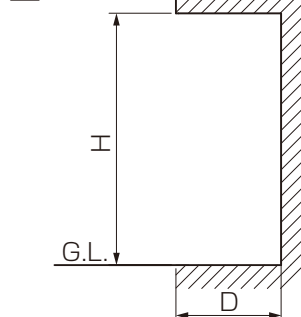


- 枠材ベースを取付ける前にアングルなどで内面を立ち上げ、床側面を隠してください。



躯体
飛び出し部

❶採寸



枠材ベース

枠材ベース

❷切詰め

【4b】φ4×13
ナベドリルネジ

【4b】φ4×13
ナベドリルネジ

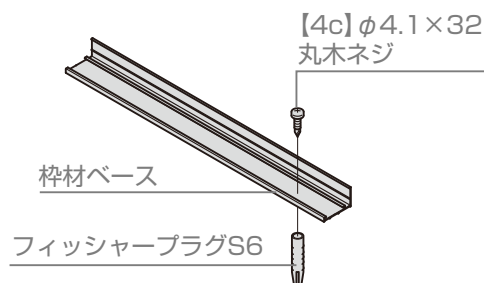
❸取付け

躯体側

内側

▼ 土間仕様の場合▼

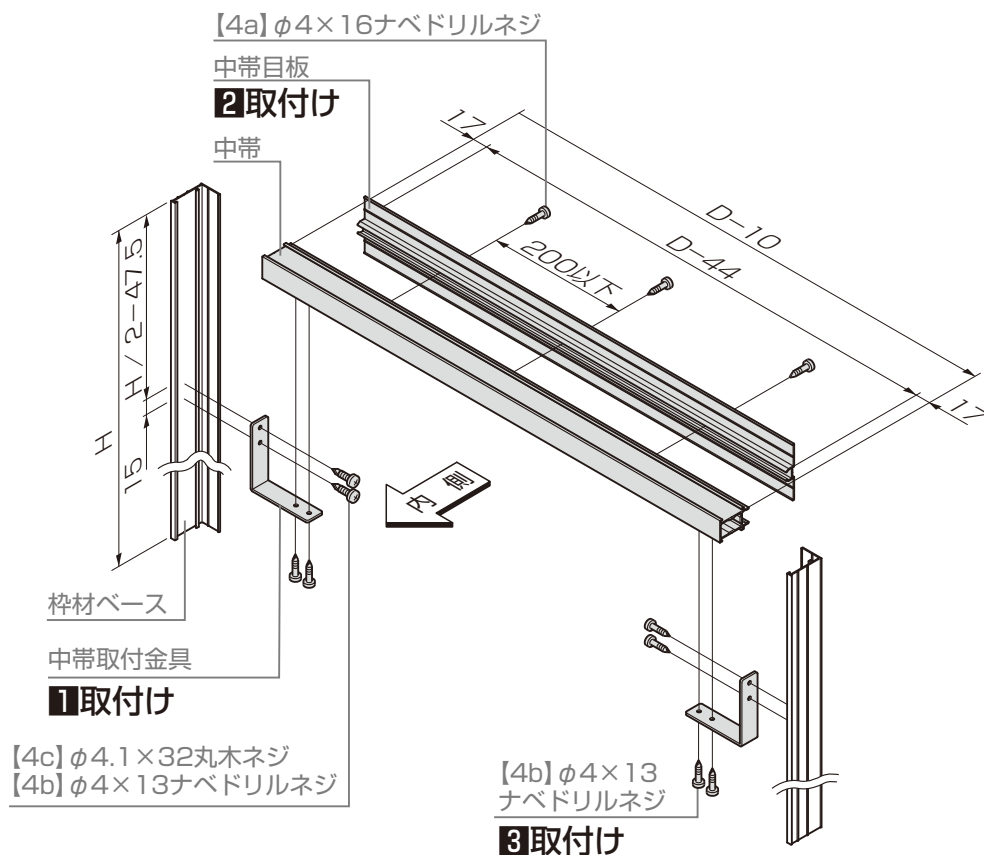
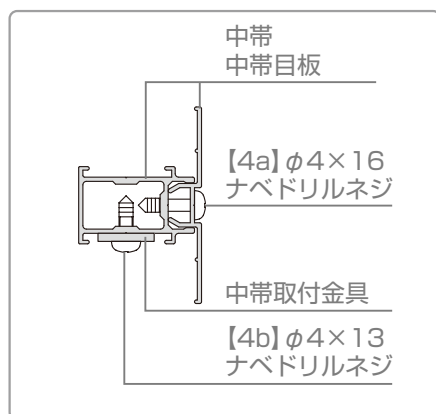
- 取付けネジを【4c】に変えてフィッシャープラグS6を仕様してください。
- フィッシャープラグS6は現場手配してください。



4 補助柱FIX枠の施工

4-2 中帯・中帯目板の取付け

- 1** : 中帯取付け金具を現場にあわせて枠材ベースに【4c】もしくは【4b】で取付け
- 2** : 中帯と中帯目板を【4a】で取付け
- 3** : **2** で取付けた中帯・中帯目板を中帯取付け金具に【4b】で取付け



4-3 面材の取付け

- 1:** 枠材ベース・中帯に面材をはめ込んだ後、枠材フタを押込む

 お願い

- 面材(アクリル板・アルミ樹脂複合板等、板厚3mm)は現場で手配してください。(※1)
- 枠材フタは先に左右を取付けてから上下を取付けてください。

2:後付けビートを四方の枠に押込んで
面材を固定

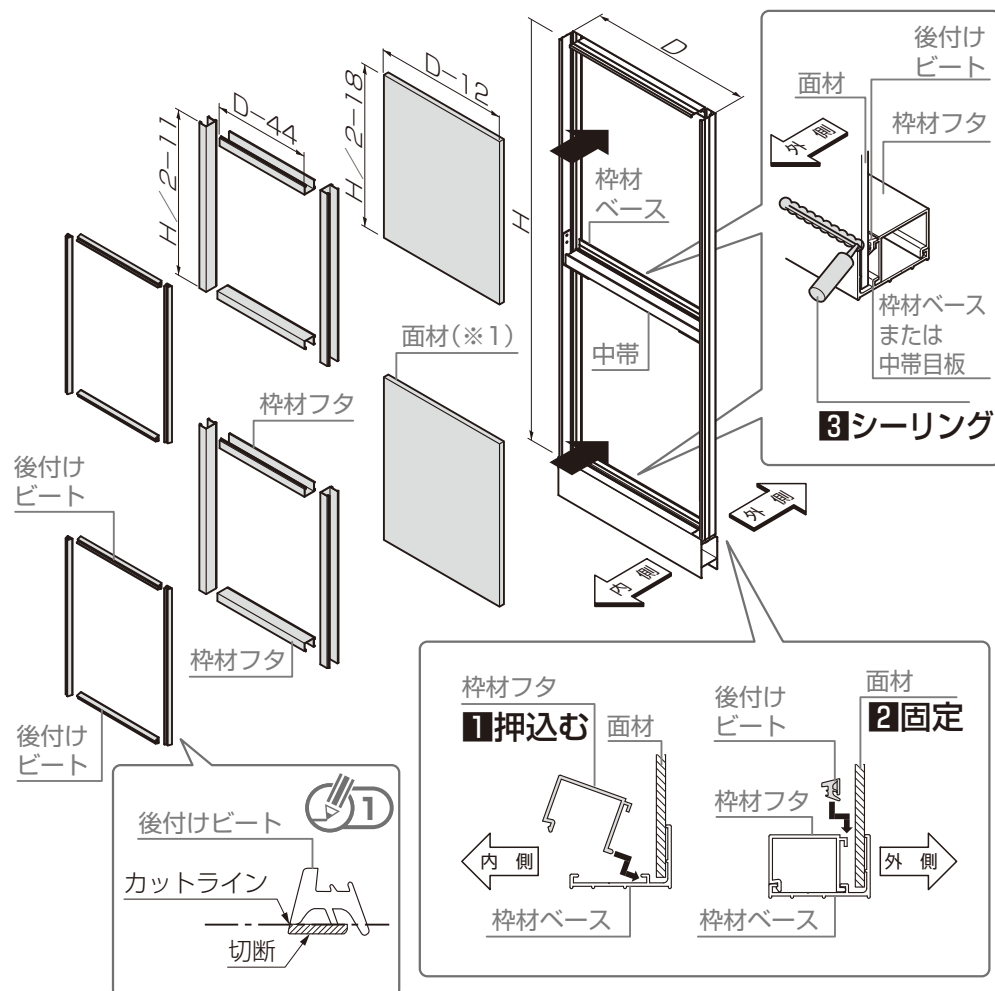
 補 足 | 1

- 後付けビートが入りにくい場合は斜線部分を切断してください。

3: 枠材の外面をシーリング

 お願い

- 指定の箇所に必ずシーリングをしてください。



梱包明細表

【1】柱1本入りセット

名 称	略 図	員 数
施工補助・隙間ふさぎ材B		1
施工補助・隙間ふさぎ補助材		1
柱		1
柱一桁固定金具		1
【1a】φ4×25ナベドリルネジ D=8.2		16
【1b】φ4×19 ナベドリルネジ D=8.2		8
【1c】φ5×20 サラ タッピンネジ 3種		8
【1d】φ4×16 トラス タッピンネジ 3種 D=8		2
【1e】M10×25 六角ボルト		4
【1f】M10 六角ナット		4
【1g】M10 バネ座金		4
【1h】M10 平座金		4

【2】柱補強材セット

名 称	略 図	員 数
柱補強材		1

【3】入隅側水切りセット

名 称	略 図	員 数
施工補助・水切り材躯体用L		1
施工補助・水切り材垂木カバー用L		1
施工補助・水切り材躯体用ビードL		1
施工補助部材 外壁固定用パッキン		8
施工補助部材 水切り材端部カバー右		1
施工補助部材 水切り材端部カバー左		1
【3a】φ4×16 ナベ タッピンネジ 1種		8
【3b】φ4×60 ナベ タッピンネジ 1種 D=7		8
【3c】φ5×16 トラス タッピンネジ 3種		12
【3d】φ5×16 トラス タッピンネジ 3種 D=11.8		12
【3e】φ4×8 トラス タッピンネジ 3種 D=8		4

【4】補助フレームFIX枠セット

名 称	略 図	員 数
中帯		1
中帯目板		1
枠材ベース		3
枠材蓋		3
後付けビート		2
中帯取付金具		2
【4a】φ4×16 ナベドリルネジ D=8.2		5
【4b】φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		30
【4c】φ4.1×32 丸 木ネジ		14

【5】桁セット

名 称	略 図	員 数	
		1.5間	2.0間
施工補助部材 隙間ふさぎ材A		1	1
施工補助部材 桁		1	1
施工補助部材 隙間ふさぎ材C		1	1
施工補助部材 外壁固定用パッキン		7	9
【5a】φ4×25 ナベ ドリルネジ		8	10
【5b】φ4×16 ナベ タッピンねじ 1種		8	10
【5c】φ4×60 ナベ タッピンねじ 1種 D=7		7	9

【6】桁キャップセット

名 称	略 図	員 数
施工補助部材 隙間ふさぎ材キャップA		左右各1
施工補助部材 隙間ふさぎ材キャップB		左右各1
施工補助部材 桁端部カバー		2
【6a】φ5×19 ナベ ドリルネジ※		11
【6b】φ4×16 サラ タッピンねじ 1種 D=6		16

※施工補助柱を使用した場合の、本体躯体方立取付用ネジです。